

自動車業界の動向と有効な対応策も紹介！

PFAS規制の最新動向と

対応策、想定される代替手段

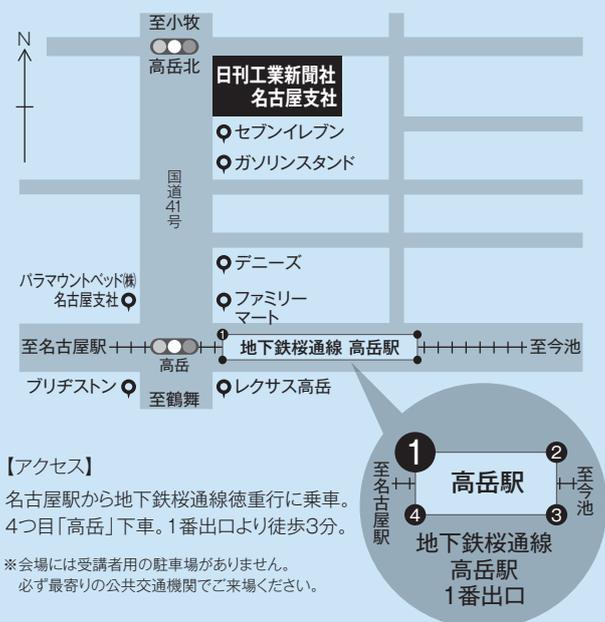
日時 2024年3月27日(水) 13:00~17:00
(12:30 受付開始)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 39,600円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。
必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。ご了承ください。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG

TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

3/27 PFAS

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.237658

開催主旨

2023年はじめに欧州の化学物質規制「REACH規則」において、有機フッ素化合物（PFAS）にかかる規制案が提示されました。PFASはその生体蓄積性や環境残留性から人体への有害性や環境への危険性が指摘され、世界各国で規制に向けた対応が進展しつつあります。例えば、PFASを製造する米スリーエム（3M）は2025年末までにPFAS製造の中止を発表しています。また、日産自動車がPFASの使用を段階的に制限するなどユーザーサイドでも自主規制を強化する動きが見られます。ただ2025年中とされる、1万種類超のすべてのPFAS規制が発行した場合、18カ月の移行期間、特例としてさらに5年間または12年間の猶予期間があるとはいえ、各企業にはPFASの適正管理や使用削減、代替手段の探索および確保が求められます。一般に素材開発は10年単位の年数を要することから今からの取り組みは必須であり、また、投資が拡大する半導体製造プロセスが制限対象に入るなど、その取り組みが急務となる業界もあります。

本講座では、フッ素樹脂およびフッ素樹脂コーティングの専門家を講師に迎え、対応に向け「待ったなし」といえるPFAS規制の最新動向から制限案の詳細までを解説します。また、専門家の観点から各業界で想定される代替手段を考察。自動車分野における業界動向と代替手段を紹介します。材料メーカーからユーザーまでPFAS規制への対応が求められる幅広い方の参加をお勧めします。

講師

平山技術士事務所 所長

平山 中 氏

【略歴】 部品メーカーの設計開発部門にてレーザープリンタ、複写機等の機能部品開発に従事し、フッ素樹脂、シリコンゴム等の表面被覆技術に関する多くの開発を行った。2013年に平山技術士事務所を設立し、フッ素樹脂系塗料の開発支援、シリコン系機能材料の開発支援、ガラス系コーティングの技術支援等、主に表面技術に関するコンサルティングを行っている。技術士化学部門 日本技術士会正会員 日本画像学会会員

プログラム

1. PFASとは何か

- 1-1 PFAS物質と利用分野
- 1-2 PFASの定義
- 1-3 PFASが環境、健康に与える影響

2. PFAS規制の最新動向

- 2-1 PFAS規制とは（PFAS制限案）
- 2-2 PFAS規制がはじまる背景
- 2-3 PFAS規制の流れと猶予期間の概要
- 2-4 日本国内での対応（パブリックコメント）

3. PFASにおけるフッ素樹脂

- 3-1 フッ素樹脂の種類と用途
- 3-2 フッ素樹脂の製造方法
- 3-3 フッ素樹脂の性質
- 3-4 PFOA自主削減プログラム
- 3-5 PFAS規制の影響

4. PFAS制限案の具体的な内容

- 4-1 PFASの閾値（対象となる濃度）
- 4-2 他法令で規制されている物質の免除
- 4-3 用途ごとの特例（猶予期間）

5. 各用途・業界で想定される代替手段

- 5-1 半導体製造・化学工業
- 5-2 工業用・業務用の非粘着コーティング
- 5-3 食品接触材料
- 5-4 繊維産業
- 5-5 その他

6. クルマなど輸送機器業界で想定される代替手段

- 6-1 空調やモータ、バッテリーなどを適切な温度に保ち続けるための熱マネジメント（熱マネ）システムへの影響と対応方法
- 6-2 フッ素ゴム部品（ガスケット、シール、ホースなど）への影響と代替手段
- 6-3 各種車載プラ部品への影響ほか

7. 素材メーカーのPFAS対応の動向

8. 想定されるPFAS規制の方向性とまとめ

9. 質疑応答・技術相談